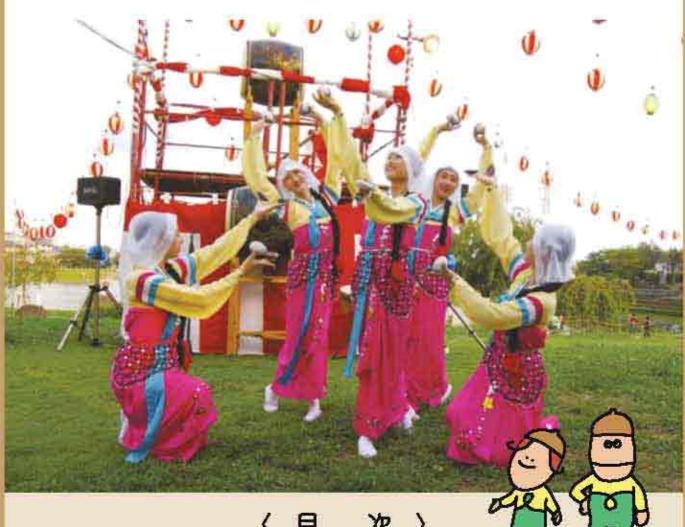
朝鮮高校にも差別なく無償化適用を求めるネットワーク愛知 会報



ととり通信 第13号



200	(2000)	20020000	- 12
<	8	次)
A	NAME OF TAXABLE PARTY.	//	

朝鮮高校生以学文源全造業国家賠償制 意見陳述	京農利	
原告番号7番	********	2
第10回口頭弁論報告	*******	5
第11回口頭弁脑報告	*******	6
●もっと知りたい! 翻解学校の모저모		
突撃インタビュー(第4回) 許長	腹さん …	7
●今さら聞けない Q&A (第4回)	_	
「傍聴する意味ってなに?」	AMMAN	8
●リレーエッセイ		
「「チョゴリ」という表現」		

曹元実さん

●他地域での無償化額率の状況	
東京地区	10
●射鮮高校振襲化ネット製知	
【銀債化デー】報告なお知らせ	11
●モンダンヨンビルコンサート In 製知	
いりゃあせ!機能学校!	
~器盤のお知らせ~	12
●事務局ほのぼの使 り	
金銭受さん	14

朝鮮高校生就学支援金違憲国家賠償請求裁判 —

第10回口頭弁論 意見陳述 原告番号7番

2014年12月2日

1

私は、去年、愛知朝鮮高校を卒業しました。両親は、幼稚園のころから私を朝鮮学校に通わせてくれました。中学からは、自宅から電車で片道1時間半ほどかけて学校に通いました。日本学校が家のすぐ近くにあったのですが、両親はお金の面で苦労しながらも、私を朝鮮学校に通わせてくれました。そのおかげで、私は今、朝鮮人として学々と生きることができています。

朝鮮学校での民族教育を通して、私は、なぜ自分は在日朝鮮人なのか、そして、自分の先祖たちはなぜ、日本に渡らなければならなかったのかを知りました。そして、自分たちが日本で朝鮮人として堂々と生きることがいかに大事なことかに気付きました。もしも、朝鮮学校に通っていなかったら、私は、自分の民族についてもまともに知ることができず、差別が根付く日本社会で、朝鮮人であることを隠して生きていたでしょう。そう思うと、苦労しながらも私を朝鮮学校へ通わせてくれた両親には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

2

私は、高校3年間、舞踊部に所属していました。朝鮮の伝統的な舞踊を踊る舞踊部は、朝鮮学校と歴史を共にしてきた伝統ある部で、サッカー部と同じように、朝鮮学校には必ずと言っていいほど存在するメジャーな部活です。

世界にはさまざまな民族の舞踊が存在していますが、それらはすべて特徴が異なり、その踊りに込められた民族の意味、思いも様々です。朝鮮舞踊は、チャンダンという独特なリズムと朝鮮の民族楽器が奏でる音楽に合わせて、ダイナミックかつ優雅で繊細な踊りが特徴です。その踊りの基本となる足や手の基礎動作もあり、小太鼓(ソゴ)や鈴(パンウル)などの小道具を使った踊りもあります。朝鮮舞踊は、古くから朝鮮民族の間で親しまれてきたもので、その踊りには、朝鮮民族の楽天的な日常を表したものや、郷土愛などを表したものなど様々な作品があり、そのすべてに、祖国、民族への熱い思い、誇りが込められています。たとえば、古くから親しまれてきたも

のに「リンゴの豊作」という作品があります。その作品は、軽快な音楽に合わせて、故郷に沢山実ったリンゴを少女たちが楽しく収穫する様子が描かれていて、少女たちの豊作への喜びと郷土愛が込められた作品です。このように朝鮮舞踊は、人々の何気ない日常を舞踊の動作で表現します。私は、高校3年間舞踊部に所属し舞踊を踊る中で、沢山の同胞たちと同じように朝鮮舞踊に魅了されました。そして舞踊を踊りながら自分自身が誇り高い文化を持つ民族の一員であることを全身で感じ、そこに誇りと喜びを感じました。

全国の朝鮮学校の舞踊部は、毎年11月に東京で行わ れる在日朝鮮人中央芸術競演大会というコンクールを一 年の目標にして、日々の練習に励んでいます。大会では 学校ごとに、先ほど例に挙げた「リンゴの豊作」などの 有名な作品の水準を競う部門や、学校ごとに様々なテー マを持って創作された作品の水準を競う、二つの部門が あります。その部門も、踊る人数によって審査部門が変 わります。それらのあらゆる部門の中で舞踊部の努力の 成果が一番発揮されるのは部員全員で踊る創作群舞の部 門です。作品の審査基準は、舞踊の技術はもちろん、踊 り子たちの団結力、動作や表情の統一性、作品に込めら れた想い、表現力などがあります。学校毎に出品される 創作群舞は、共通して「朝鮮学校の大切さやそこで学ぶ 喜び」、「朝鮮人として堂々と生きていこうという決意」、「祖 国統一への願い」、「祖国を思う気持ち」など、在日朝鮮 学生の立場から「朝鮮人として生きること」、「朝鮮学校と は、祖国とは、なにかしということをテーマにしています。 そしてそのテーマを、花や水、火、大地、風、太陽、鳥 などといった自然を題材として芸術的に表現します。

たとえば、私が高校3年生の時に踊った作品は、愛知朝鮮高校の校花である「春蘭」という花を題材にしたもので、踊り子たち一人一人はその春蘭という花を演じます。作品の中で「春蘭」は、わが校に咲く花であり、同時に「朝鮮学校」そのものを暗示しています。そして、春蘭たちが強い風や雨に打たれるような場面では、朝鮮学校が日本社会からの差別にさらされ、困難の中にいるということを表現していて、それでも花たちがそれに屈せず立ち向かい、咲き誇っているような場面では、朝鮮学校が差別の中でも、異国で生まれた朝鮮学生に祖国の大切さを教えてくれ、朝鮮人としての魂を育んでくれる大切な場所として健在している、ということを表現しています。このように朝鮮学校を「花」を題材にして表現し、その大切さを見ている人に芸術的に伝えるというものです。

2

この作品を、当時、舞踊部総勢 24 人で踊りました。「心を一つに、一つになって舞う」という意味が込められた「一心一舞」という言葉を胸に、一年間、沢山の汗と涙を流しながら猛練習に励んだ日々。朝早くから放課後夜遅くまで、本番のたった一回の舞台のために、踊らない日は一日もありませんでした。特に私を含め 10 人の高 3 は、最後の大会で金賞を取るため、そして先輩として後輩たちを引っ張っていくため、共に悩み、切磋琢磨し、涙を流しました。惜しくも本番では金賞を取ることはできませんでしたが、取れなかった後悔より、猛練習を乗り越え、皆で心を一つにして踊り切った達成感が何倍も大きかったです。共に朝鮮舞踊に青春をつぎ込み、他の誰よりも同じ時間を過ごし、心を通わせあった 10 人の同級生は、別々の道に進んだ今も、人生においてのかけがえのない同志です。

舞踊部は、他にも、学校の運動会や学園祭、その他の 色々な行事で踊り、その場を華やかに盛り上げます。さ らに、地域のイベントや公演などにも積極的に出演しま す。このような舞踊部の活動を通して私は、たくさんの 日本の方と関わることができ、また多くの人に朝鮮学校 の存在を知ってもらうことができました。

3

私が祖国の素晴らしい文化、朝鮮舞踊と出会い、思いっきり踊ることができたのは、他でもない朝鮮学校の存在があったからです。もしも朝鮮学校がなかったなら、私は祖国の文化と出会うこともなく、舞踊部のかけがえのない友人とも、そして沢山の同胞たちや日本の方々とも出会うことはありませんでした。

このように、私にとって朝鮮学校とは、自分の祖国の言葉や歴史、文化を肌で感じ、全身で祖国を感じることができる、在日朝鮮人にとっての第2の故郷であり、また同胞たちを繋げる輪であり、そして日本社会との懸け橋になる場所です。また、同時に、朝鮮学校は、民族の言葉や文化を守る場所でもあると思います。舞踊部も、朝鮮舞踊を日本社会に発信し、朝鮮民族の文化=朝鮮民族を認識してもらうことで、日本社会において朝鮮民族を守っていると思います。朝鮮学校が日本に存在するからこそ、朝鮮民族の言葉や文化は日本で存在し守られるのです。そして私たち在日朝鮮人は朝鮮人として堂々と生きていくことができるのです。私たち在日朝鮮人にとって朝鮮学校とは、民族そのものであり、ルーツそのものなのです。

4

高校無償化適用を訴える私たちの闘争が始まって、もう5年という月日が経ちました。高校無償化法案が出た当時、私は中学3年生でした。私には兄弟がいて、下の兄弟も朝鮮学校に通っていました。私たち兄弟が進学するにつれ、ますます、両親の負担が重くなると心配していた私は、この法案の話を聞いたとき、少しは両親の負担も減るだろうと、とても喜びました。しかし、いざ高校生活が始まろうとする時、政府は朝鮮学校のみを除外し無償化は適用されませんでした。その時、私は日本政府に対する幻滅・驚きとともに、過去にあったJR定期券問題や、高体連出場資格をめぐる問題などの理不尽な民族差別が、また繰り返されるのかと思い悲しく、日本政府に対する底知れない憤りを覚えました。

その後、私の高校生活はがらりと変わりました。朝鮮 舞踊を踊る大切な部活時間を割いて、街頭で署名活動や ビラ配りを行いました。暑い日も寒い日も駅や街頭に立 つ私たちに対し、見向きもしない人、冷たい視線や罵声 を浴びせる人が多く、私たちは、精神的にも次第に傷つ いていき、「こんなことやって意味があるのか」、「もうこ れ以上やりたくない」などと不安や恐怖、あきらめを感 じずにはいられませんでした。

皆さんは、沢山の人々が行きかう駅前や街頭に立ち、 声をあげ署名を求める学生たちの気持ちを、一度でも考えたことがありますか?私たちの心は、決して人よりも強いわけではなく、自分たちを取り巻く日本社会の現実と、高く立ちはだかる差別意識の前で怯え、不安を感じずにはいられません。

署名活動をするとき、罵声を浴びせられ泣いてしまう子もいました。そして、署名活動に向かう度私たちは、今日は何を言われるのだろう、いつまで差別が続くのだろうと、言葉にせずとも、お互い不安に満ちた表情を隠しきれませんでした。

しかし、署名活動にいく度、そこには、横で一緒に声をあげ署名を集めてくれる日本の方々の姿がありました。私たちは、朝鮮学校のこと、そこで学ぶ自分たちのことを理解し、協力してくれる日本の方たちの姿から、日本社会の朝鮮学校に対する差別意識や偏見を少しでもなくせるのではないかという希望を得ることができました。そして協力してくださる日本の方々への感謝の気持ちと共に、朝鮮学校に通っている私たち朝鮮学生こそが、差別意識や偏見をなくすべく、もっと強く闘っていかなければならないということに気づきました。

そして何よりも私にとって朝鮮学校は、単に学問を習うだけの場所ではなく、自分のルーツを教えてくれ、異国に生まれ育った私たちに民族の素晴らしさ、誇り、精神を教えてくれ、朝鮮人であることの喜びを分かち合うことのできる場所なのです。朝鮮学校や朝鮮学校で学ぶことを否定されるということは、朝鮮学校で培ってきた朝鮮人としての自分自身を否定されるということです。ですから私たちは、不安や恐怖の中でも、誰一人とあきらめることなく自ら街頭に立ち声を上げ続けました。

5

日本の学生が日本語や日本史を習うのと同じように、朝鮮人の学生もまた、朝鮮の言葉や歴史を習っています。 民族が異なり、習う言葉や歴史、文化が異なるだけで日本人学生も朝鮮人学生も変わりはなく、学校で学ぶ権利は平等であるはずです。平等でなくてはおかしいです。 そもそも政府は、自らが高校無償化法案を実施する際、学ぶ権利の平等について、よくご存じではなかったのですか?自らが実施した法案に全面的に矛盾し、政治外交上の理由を持ち出して、理不尽な差別をしているのに気付かないのですか?

2020年には、ここ日本でオリンピックが開催されますが、一つの民族を差別し、学ぶ権利の平等すらきちんと保障できない日本で、いろんな国、民族の人々が集まる、平和と平等のスポーツの祭典が行われてもいいのでしょうか。今の日本社会はオリンピック開催国としてあるまじき姿だと思います。

6

朝鮮学校ではどんどん学生数が減少し、今までたくさ

んの朝鮮学校が廃校を免れませんでした。現実的な財 政問題や日本社会での差別、偏見、不利な条件などが 朝鮮学校を危機に追いやっているのです。朝鮮学校が無 くなるということは、在日朝鮮人のコミュニティーが失わ れていくことを意味します。私は、自分たちの大切な時 間を奪われ、何よりも朝鮮人であることを差別され否定 されているこの事態を、ただ黙って見ているわけにはい きません。そのため、高3の時に原告募集の話を聞いて、 私はなんの迷いもなく原告として闘うことを決意しまし た。自分たちが無償化制度の適用を受けないまま卒業す ることによってこれから先も後輩たちが闘いつづけるの だと思うと胸が痛みました。ずっと一緒に闘ってくださ る日本の方々や同胞たちの一員として、朝鮮学校で民族 を培い楽しい日々を送っている後輩たちのために、そし て、踏みにじられ否定された民族の尊厳を取り戻すため に、一つでも自分にできることを積極的にやっていかな ければならないと、その時強く感じました。

私は現在、東京にある大学に通っています。今この瞬間も大学では授業が行われています。もしこのような問題が起きていなかったら、私は大切な授業を抜けることはありませんでした。今までの原告のみんなも同様です。しかし、私は今も後輩たちが差別を受け続けていると思うと耐えられません。自分の大切な時間を割いてでも、一刻も早くこの問題を解決しなければなりません。

日本政府のみなさん、どうか私たちの言葉に真剣に 耳を傾けてください。そして自分自身の良心に問いかけ てください。差別が始まって5年という月日の間、沢山 の在日朝鮮人の心が傷つけられました。私は、政府が差 別を認め、その過ちを正す日が来るまで、強く、強く訴え、 闘い続けます。



第10回口頭弁論のご報告

弁護団事務局長 裵明玉

2014年12月2日の口頭弁論では、原告から第11準備書面を提出し、被告国の主張に反論しました。反論のポイントは次の5つです。

①国の主張の明確化を求めました

具体的に釈明を求めたのは、

- ・国は、産経新聞の記事、大韓民国民団(民団)や「救う会」が朝鮮学校の無償化除外を求めた要請書を除外の根拠の一つにしています。どうしてこれらに書かれた裏付けのない主張が除外の根拠となるのでしょうか?
- ・産経新聞の報道などで、朝鮮学校が朝鮮民主主義人 民共和国(以下、共和国)から教育援助費などを受け ていたことが問題とされていますが、外国人学校が本 国から支援を受けるは当たり前のことです。これらの報 道が無償化除外の根拠とされた理由を一つ一つ教えて ください。

②共和国・朝鮮総聯の「不当な支配」がありうることを理由とする無償化除外は違法であること

- ・国は具体的な証拠もないのに「不当な支配」が疑われ ると言っています。
- ・日本の公私立高校や、他の外国人学校については、「不 当な支配」がないことは高校無償化の要件にされてい ません。朝鮮学校にだけ、「不当な支配」の要件を課 すのは間違っています。
- ・外国人学校が本国や民族団体から支援を受けるのは当たり前のことです。海外の日本人学校は、文部科学省の支援のもと、現地日本人会によって運営されています。 日本の韓国学校も、韓国政府から教員の派遣を受け、 民団の団長が理事長を務めています。そのことを「不 当な支配」というのは間違っています。

③延坪島事件 (南北朝鮮の砲撃戦)を理由とする審 香停止が違法であること

- ・国は「朝鮮戦争が起こりかねない中で、審査会が報道 などの影響を受け、朝鮮学校が公正な審査を受けられ ないことを心配して、審査を止めた」と言っていますが、 この主張は嘘です。当時の国会答弁でも、内閣の閣議 決定でも、「国民の生命財産を守る」「不測の事態に万 全の体勢で備える」という子どもの教育とは何の関係も ない理由が繰り返されています。
- ・審査会の委員は、審査を公正に行うために匿名で保 護されていて、審査を止めなくても問題はなかったは ずです。

④文部科学省の審査会の審査内容からも無償化すべきこと

- ・朝鮮学校を無償化の対象校にするかは、審査会がまず審査をして結論を出し、それを踏まえて文部科学大臣が最終決定をすることになっているのに、下村大臣が独断で無償化除外を決めたことは違法です。
- ・審査会は、どの朝鮮高校も形式的な審査基準は満たしていることを確認していたのに、「不当な支配」を理由に除外したことは違法です。

⑤行政手続法に違反していること

・朝鮮学校に対する審査を理由もなく2年3ヶ月も長引かせたこと、一度作った審査基準を、政権交代後に突然削除して朝鮮学校を除外したことは、行政手続法違反です。

第11回口頭弁論のご報告

弁護士 仲松 大樹

1

準備書面の内容をすべてご説明することは紙幅の関係上 難しいので、要点をかいつまんでご報告します。

2

高校無償化法は、憲法や国際人権法を受け、すべての 学ぶ意思をもった生徒のために、その生徒が通う学校が日本の高等学校と同等の教育活動を行っているところであれ ば、そこに通うための就学支援金を支給すると定めていま す。そして、その判断方法は、日本にどんな学校があるか よく知っているはずの文部科学省が考えなさい、ということ にしました。

3

そこで、文部科学省は、次の三つの枠組みを定めました。 一つ目は、「日本と正式な国交をもつ『母国』から『我が国 の高等学校だよ』と位置づけられている学校」という枠組 みです。

しかし、この枠組みでは、日本と正式な国交を持つ「母国」を持たない学校がもれてしまいます。そこで、二つ目に、「国際的に実績のある学校評価団体から、『高等学校レベルの教育をしているよ』という認証をうけた学校」という枠組みも定められました。

しかし、この二つ目の枠組みでも、欧米系の言語で授業を 行っていない学校はもれてしまいます。そこで、学ぶ権利の 保障にもれがでないように、三つ目の枠組みとして、端的に 「実態を見れば、高等学校と同様の教育活動を行っているこ とがわかる学校」というものも定められました。

朝鮮高級学校は、この最後の枠組みに基づいて、無償化適 用対象とされるはずでした。

4

ところが、政権交代後、文部科学省は、先ほどの3つの 枠組みから最後の一つを削除してしまいました。そのため、 朝鮮学校が無償化の適用対象校となる可能性は制度上ふさ がれてしまったのです。

そこで、こんなやり方はおかしい、3つ目の枠組みを削除したのは違法だ、ということを明らかにしたのが、2月3日の口頭弁論で陳述した準備書面です。

5

なぜ「3つ目の枠組みを削除したのは違法だ」といえるのでしょうか。

最初に述べたとおり、そもそも高校無償化法が文部科学省に求めていたのは、「日本の高等学校と同様の教育活動を行っている学校」をもれなく認定できる枠組み作りだったはずです。ですから、朝鮮高級学校のような「日本の高等学校と同様の教育活動を行っている学校」を、あえて適用対象から外す枠組みを作ることは、高校無償化法が許さない行為だといえるのです。

また、高校無償化法は、「大事なのは生徒の学ぶ権利の保障だ」という観点から、無償化の適用対象校かどうかを判断するときには、その学校が「日本の高等学校と同様の教育活動を行っている学校」かどうかだけを見るように言っています。しかし、政権交代前後の自民党議員や大臣の発言等から明らかなように、3つ目の枠組みの削除は、専ら朝鮮民主主義人民共和国と日本国との関係という外交的・政治的理由にあります。このように、高校無償化法が考えてはいけないと言っていることがらを理由としていることからも、3つ目の枠組みの削除は高校無償化法違反だといえるのです。

朝鮮学校



突撃インタビュー〈第4回〉



許長順さん

今回のインタビューは、長年にわたり女性同盟旧瑞穂 支部分会長や同南支部組織部長などをなされ、今なお講 演会、裁判傍聴などに積極的に足を運ばれるなど、戦後 の同胞社会を支えてきた同胞2世の許長順さんにインタ ビューしました。ご高齢になられても、絵画、海外旅行な どの趣味を持ち、並々ならぬバイタリティーで精力的に活 動をしていらっしゃいます!〈インタビュー: USM〉

朝鮮語を学び始めたのは2007年ごろ。参加していた「在日朝鮮人作家を読む会(以下、「読む会」)」でとある朝鮮人女性と知り合い、週1のペースで朝鮮語を習うことになりました。子育て中は、自宅横の工場で働き詰めだったため朝鮮語を学ぶ余裕はなかったそうです。ご主人が工場での作業をなさっていたので、長順さんご自身は1tトラックにパチンコのフレームを違法にならないギリギリまで高く積んで運搬していらしたというエピソードも。その頑張りで朝鮮学校には高校生としての学割も適用されず、定期代だけでも高額な時代に、4人のお子様全員を希望通りハッキョへと送り出しました。工場は今、ご長男夫妻が継いでいます。

お子様がハッキョに通っていらした当時は、愛知朝 鮮第三初級学校の一員として、寄付集めやキムチ、チ デミの販売を通して、学校の財政支援に尽力されまし た。綿密な計算のもと、必要な財源は必ず調達して みせることから、この通称「第三オモニ会」は愛知の 同胞社会では「伝説のオモニ会」として語り種となっ ています。オモニ会の活動の原動力になっているのは、ハッキョがコミュニティの核になっているという意識。この意識が、現在の無償化裁判への関心に繋がっているようです。「(日本政府が朝鮮学校に対してやっていることは)学生間のいじめとよく似ている。なんで弱い者いじめなんかするのか。学校がなくなったら、全部なくなってしまう。こうなったら裁判で、公の場所で、日本政府がやっていることは間違っていることをはっきりさせよう。」と無償化裁判への期待を語ってくださいました。

また、今の日本社会に対する危機感とその対抗軸の 展望についてもお話を頂きました。「今、日本は儲け主 義に走り、お金が集まるところにはより集めて、ないと ころは切り捨てている。そうやってお金が集まったとこ ろは、戦争をしたいという欲望に駆られる。それはだ めだという思いが草の根的に広まってくれればと思う。

その上で、自分にできる支援のやり方が裁判傍聴や報告集会に足しげく通うことだと言います。「人は集まれば力になりますでしょ?」という問いかけは、「第三オモニ会」や「読む会」「女性同盟」といったこれまでの集まりの中での経験に分厚く裏付けられた、非常に力強いものでした。

自由に出歩き、日々新たな出会いを重ねる今が最も幸せだと言う長順さん。しかし、日本社会による在日朝鮮人差別の影が見え隠れするエピソードも。長順さんのご主人は先に日本に行っていたお父様と、追いかけてきたお母様が福岡で奇跡的な再会を果たした末に生まれた方だそうです。また、長順さん自身、青年団など様々な場所で「朝鮮人である」ことを理由に相手にされないという経験をされてきました。

過去の振り返りをしっかりしつつ、在日朝鮮人、日本人、様々な立場の人々の緩やかな友好関係を築きながら、何かと暗い影に覆われている日本社会に明るい 展望を見出していきたいですね。そのためにも日々の 出会いを大切にしていきたいものです。

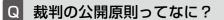
インタビューは長順さんのご自宅で行いました。トトリ通信の熱心な読者で、「分かりやすくて助かっている」とお褒めの言葉を頂きました。ありがとうございました!また、お手製のトックッ、唐揚げ、ほうれん草のおひたしなどなどとても美味しい夕飯を用意して出迎えてくださいました。ごちそうさまでした!!

今さら聞けない裁判基礎知識



第 4 回

「傍聴する意味ってなに?|

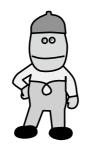


A:憲法82条1項は、「裁判の対審及び判決は、公開法廷でこれを行う。」と規定しているよ。この裁判の公開原則を定めた憲法の条文の趣旨については、一般的に、裁判を公開して、裁判が市民からの監視を受けることによって、裁判所が公正な裁判をするようになり、そのような公正な裁判をしているからこそ、市民が裁判を信頼するようになるということだと考えられているよ。だから、裁判を傍聴するなどして、裁判所が「公正な」裁判をしているかを監視していくことが重要だし、そうであるからこそ、裁判を傍聴する権利が市民には認められているんだ。※「対審」とは、簡単に言うと、裁判官の面前で当事者が口頭でそれぞれの主張を述べることだよ。

Q 裁判所が「公正な」裁判を行わないこと なんてあるの?

A:裁判所は、裁判の手続きに関して定められた 法律等(民事裁判の場合は、民事訴訟法等)に 基づいて裁判の手続きを進めるから、法律に反 する裁判手続きが行われるようなことは普通な いよ。でも、法律が定めた範囲内であれば、裁 判官には裁判の進め方に裁量が認められている から、実際の裁判の進め方は、個々の裁判官の 考え方や性格等によって大きく違ってくること があるんだ。現に、無償化裁判についても、愛 知では、原告全員が意見陳述をすることが認め られたけど、他の地域では、原告の意見陳述を 認めない裁判所もあったんだよ。そして、この 各裁判官の判断の内容によっては、「公正な」 裁判とは言えないような裁判の進め方などがさ れることがあるから、傍聴をして、しっかり注 視していく必要があるんだよ。

8



Q 裁判を傍聴する意味ってなに?

A: 裁判官も人間だから、支援者がたくさんいる裁判では、多くの人達から「見られている(監視されている)」ことを意識して、そちら側が一方的に不利になるような「不公正」な裁判の進め方はしにくくなるよね。また、たくさんの支援者が傍聴しているということは、その裁判に多くの人が関心を寄せているということになるから、裁判官も、より真剣にそちら側の主張に耳を傾けようという気持ちになる可能性もあるよ。

Q 裁判を傍聴すると何が分かるの?

A:裁判を傍聴すると、原告側の主張の内容が分かるようになるよ。今後、愛知の無償化裁判では、法律的な主張が中心になっていくから、理解するのが難しいこともあるかもしれないね。でも、自分達が支援している原告たちが、どのような法律的な主張をしているかということを少しでも理解していくことは、とても重要なことだよ。原告達の主張の内容について、自分が簡単にでも説明できなければ、支援をお願いして、支援者を増やしていくこともできないからね。法律的な主張の内容については、各裁判終了後に行われている報告集会の中で、弁護士の先生たちが分かりやすく説明してくれるから、裁判と合わせて報告集会にも参加すると、裁判に関する理解がより深まっていくと思うよ。だから、今後も、裁判傍聴と報告集会に積極的に参加してね!



『「チョゴリ」という表現』

愛知朝鮮中高級学校 2011 年度卒業生 愛知医科大学看護学部 3年 曹元実

私は小学1年生から高校3年生までウリハッキョに通いました。今は日本の大学に通っています。

私には中学、高校時代から今もずっと大切にしているものがあります。それは、「チョゴリ」です。朝鮮の民族衣装であるチョゴリは、朝鮮学校の女子中高生の制服となっています。しかし、1994年以降「北朝鮮」報道や「ミサイル」報道によりチョゴリ切り裂き事件が勃発してからは、ブレザーである「第二制服」が主流となっています。第二制服が出来てからはほぼ全員が第二制服を着て通学します。私は、中学1年生から高校3年生までの6年間毎日チョゴリを着て片道1時間半かけてウリハッキョに通いました。高校時代、同級生の中でチョゴリを着ていたのは女子生徒24人中私を含め3人でした。

よく周りからは「チョゴリを着て駅を歩くの怖くない?」と 聞かれました。そのたびに「怖くないよ。」と笑って返して いましたが、実はかなり怖かったです。電車に乗っている間、 ずっとだれかに見られていてコソコソと話し声が聞こえ、時 には暴言を吐かれたり嫌がらせをされたこともあります。「か わいいといってくれる人もいるよ。」なんて生ぬるいものでは なかったし(もちろん嬉しいです)、怖くて泣いた日もありま

こんな体験をしながらもなぜ私がチョゴリを脱ぐことがなかったのかというと、チョゴリは私の「表現」だったからです。 ウリハッキョの生徒である、朝鮮人であるという表現だったし、ここにはウリハッキョがあって朝鮮人がいるんだよというアピールでした。

大学生になって私服で電車にのった時、私はものすごい違和感を覚えました。だれも私のことを気にしないんです。当たり前のことですが、私にとってはありえない話でした。私にとって「当たり前」のことは、常に視線と陰口と異様な空気の充満した空間でした。卒業してみて初めて自分の「当たり前」が異常なことだと気づきました。

卒業後、高校無償化裁判の傍聴、街頭宣伝に参加しながら思うことは、いかに今の現状がおかしいかということです。 高校生が一生懸命に声を張り上げる姿、びくびくしながら歩く通学路、そもそも無償化の対象から朝鮮学校が除外され

9

民族教育が否定されていること。卒業生という立場から高校生の姿を見るとものすごく申し訳ない気持ちでいっぱいになります。「自分達の代で問題を解決できなくてごめんね。」という言葉を残して卒業した人たちはどんなに多いことでしょう。無償化除外により、どれだけの生徒たちが傷つき、自信をなくし、生きづらさを感じているでしょうか。

第二制服ができた当初、私の通った岐阜のハッキョで行われた会議でとある日本人のオモニがおっしゃったそうです。「どうして第二制服の話ばかりしてチョゴリをいかに守れるかという話をしないのですか?」と。この言葉にすべてが詰まっていると思います。

ウリハッキョの生徒達がチョゴリをきてウリマルを話しウリノ レを歌い、朝鮮人として堂々と生きられるように私はこれか らも活動を続けていきます。



他地域での無償化裁判の状況

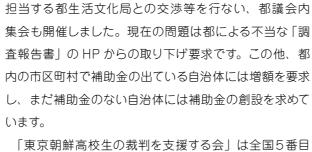
「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会 **佐野 通夫**



東京では、3つの団体名で活動しています。「「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会」は、2010年、「高校無償化」法施行の直前、朝鮮学校を除外する動きに反対して、急遽全国に呼びかけ結成した団体です。賛同団体は330を超えるものとなりました。全国の賛同団体をたばねた団体ですが、実際の活動は月に1度、東京近隣のメンバーが集まり、文科省交渉、内閣府交渉を計画し、全国集会・デモを呼びかけてきました。この他、朝鮮学校を知ろうと、都内の朝鮮学校訪問を企画しています。土曜午前中に授業参観をさせていただき、昼食後、オモニ、アボジ、学校関係者などと懇談、地域の人々に呼びかけ、その学校を支える会に発展させていきたいと願っています(都内10校の朝鮮学校のうち、個別の支える会があるのは3校です)。

「朝鮮学校への公的助成を求める連絡会・東京」は、翌 2011 年、石原都知事が朝鮮学校への補助金支給を不当に停止した事に反対し組織したものです。補助金を





「東京朝鮮高校生の裁判を支援する会」は全国5番目となった東京朝高生による「無償化」裁判を支援する組織です。2014年2月18日、600人を超える参加者で結成集会を持ちました。その後、現在まで5回の口頭弁論の傍聴を呼びかけ、4月と7月の口頭弁論時には、口頭弁論後の集会(学校が主催)と晩の報告集会を持ちました。大法廷に移った10月の第3回口頭弁論から、晩の集会は別の日に持っています。裁判の様子を伝え、裁判傍聴を呼びかけるために、口頭弁論ごとに「ヨンピル通信」を発行、東京朝高生が作画した支援グッズ(クリアファイル・付箋)も製作しています。



朝鮮高校無償化ネット愛知【無償化デー】報告 & お知らせ

無償化ネットワーク愛知は、無償化問題を訴える運動を停滞させることなく、裁判闘争を長いスパンで盛り上げるために、毎月24日前後(提訴日が1月24日)を「無償化デー」として、9月より様々な企画を行って参りました。

【1月無償化デー報告、1月31日(土)】

第5回無償化デーでは、昨年8月にジュネーブで開かれ た国連人種差別撤廃委員会でのロビー活動に参加した朝 鮮大学校生2名による講演会をアイリス愛知で行いました。 今回の講演会では、ロビー活動やランチタイムブリーフィン グでの活動報告や活動最中にあった委員たちとのエピソー ド、この活動に多くの同胞たちが援助を下さったこと、そ して実際にどのような流れで勧告が出されたかなど様々な 話をしていただきました。そしてこのあとの質疑応答では、 実際にこの活動に参加されたお2人から活動を通しどんな ことを思い、どんなことを感じたかというお話を聞くこと が出来ました。このように今回の講演会では、世界にこの 問題を訴えるために活動を行った2名のお話を聞くことで、 いかに草の根活動が大事なのかということを改めて感じさ せられ、1人1人が出来ることをやっていく大切さ、またそ れを多くの人に知ってもらい団結する大切さを感じさせら れた、とても良い講演会となりました。

【2月無償化デー報告、2月21日(土)】

第6回無償化デーは、愛知朝鮮中高級学校で日本の学 校の先生方 11 名をお招きして交換授業を行いました。こ の日は様々な分野で活躍される先生方をお呼びし、最も遠 方からでは、沖縄の琉球大学の先生にもお越しいただきま した。9時開始の朝早い時間からでしたが65名の人が集 まりました。授業は1時間目、2時間目に行われ授業内容 も多種多様で生徒たちもとても興味深そうに参加していま した。たとえば弁護士の矢崎暁子さんによるブラックバイ トに関する授業や愛知県立大学樋口浩造先生による「近代 日本のアジア認識」の授業など、普段の授業では聞けな いようなものもたくさんありとても興味深いものが多かっ たです。授業後には朝鮮学校の生徒たちによる芸術公演 が行われ、歌や民族楽器などの演奏を披露してくださいま した。自分たちの民族の歌や楽器を習い演奏する学生たち の姿をみて多くの方々が感動を受けていました。このよう にこの交換授業では実際に朝鮮学校を訪れ朝鮮学校の生 徒たちの姿を見て交流することで朝鮮学校の存在の大切 さを知るとても良い機会になった無償化デーとなりました。

次回「無償化デー」のお知らせ

【パッピンスほのぼのライブ(3月無償化デー)】

日時: **3月27日(金) 18:30** ~ 場所: **長円寺会館(栄駅近辺)**

[内容]

パッピンスほのぼのチャリティーライブを行います。このライブには歌手の遠山洋子さん、愛知県立大学のジャズサークルの方々、そして愛知朝鮮学校の舞踊部なども出演します。多様な演目を見れるほかに、朝鮮学校生徒の演目も見れるとても楽しいライブとなっております。前売り券も一般 1000 円、中高生 500 円で販売しているので、周りの人たちにも声をかけ、ぜひ見にいらしてください。

【4月無償化デー】

日時: **4月17日(金) 19:00**~

場所 : **名古屋駅**

[内容]

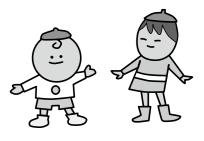
駅前で無償化チラシ入りのティッシュ配りを行います。無 償化の問題を多くの方々に知ってもらうためにも、このよ うな草の根の運動は、とても重要な活動になりますので多 くの方々に是非来ていただきたいです。この問題を多くの 人々に知ってもらい、無償化裁判を支えるためにも共に頑 張りましょう。

【無償化ネットワーク愛知総会 (5月無償化デー)】

日時: 5月7日(木) 18:30 ~ 場所: ウインク愛知(名古屋駅)

[内容]

無償化ネットワーク愛知の総会が行われます。一年間のネットワーク愛知の活動を振り返り、今後の無償化闘争の決起の場にしたいと思います。また、総会のときに行われる講演会では、龍谷大学法科大学院の教授で、ヘイトスピーチの研究をされ京都朝鮮学校の裁判で活動されている金尚均先生をお招きしています。皆さんぜひお越しください。



モンダンヨンピル コンサート

in 愛知 いりゃあせ!朝鮮学校! 〜開催のお知らせ〜

モンダンヨンピルコンサート in 愛知 実行委員長原科 浩

2015年はモンダンヨンピルが韓国から愛知に やってきます。モンダンヨンピルは、東日本大震災 で被災した東北の朝鮮学校を支援しようと立ち上 がった、アーティストを中心とした韓国の団体です。 その後継続して朝鮮学校との交流・支援を行い、さ らには「高校無償化」制度から排除された朝鮮高校 の裁判運動も支援してこられました。

2012年には東京、13年には大阪、昨年14年には広島でコンサートが行われました。クォン・ヘヒョさんをはじめとする韓国の一流アーティストと朝鮮学校の生徒たち、日本の支援者が一体となって作り上げるパフォーマンスは、どの地域でも大きな感動と励ましを生みました。各地でモンダンヨンピルと朝鮮学校生徒たちとのあたたかい交流が続いています。

愛知コンサートのサブタイトルは「いりゃあせ!朝鮮学校!」です。名古屋弁で「いらっしゃい!」です。韓国の人たちも、日本の人たちも、みんな朝鮮学校に来てください。ありのままの姿を見てください。みなで交流しましょう。ここから新しい未来を作り出しましょう。そんな思いが込められているのではないかと思います。

コンサートの日程は7月3日(金) 18 時 30 分開演。会場も栄のナディアパーク青少年センターアートピアに決定しています。

アーティストによるコンサートだけでなく、一般の



方の訪問団も来日され、分れて朝鮮学校を訪問し、 生徒たちと交流をします。コンサートと訪問、どち らも大切なモンダンヨンピルの活動だとお聞きして います。

実績がある活動ですが、韓国から朝鮮学校のために来日し、朝鮮学校を訪問するのですから、受け入れる日本側の私たちにも慎重な対応が求められます。諸分野で活躍されている方々にご支援をいただき、実行委員会を立ち上げることができました。今後さらに多くの方にご支援、ご協力をいただきながら、生徒たちにも一生の思い出に残るような、また裁判運動支援にも広がりと元気がでるような、モンダンヨンピル in 愛知としていきたいと思います。いりゃあせ! モンダンヨンピル! よろしくお願いいたします。



モンダンヨンピルより、コンサート開催に向けたメッセージ モンダンヨンピル事務局長 金明俊

(原文)

아이찌 동포 여러분 안녕하세요 .

조국이 해방을 맞이한 지 70년, 그 기쁨과 함께 시작된 민족교육이 여전히 일본땅에서 지켜져 오고 있다는 사실 이 놀랍습니다. 그 기적을 손수 일구어내신 동포여러분들 께 감사와 존경을 담아 인사 드립니다.

이 뜻 깊은 2015년에 몽당연필은 일본의 한 가운데에서 우리학교를 지켜오신 아이찌 동포들을 만나러 가게 되었습니다. 올해 7월 3,4,5일 < 소풍 in Aichi>행사는 그 어떤 '소풍'보다 뜨겁고 감격적인 만남이 되리라 믿습니다. 지난 2011년 동일본 대지진을 계기로 생긴 < 조선학교와 함께하는 사람들 몽당연필>은 2012년 첫 < 소풍 in Tyokyo>를 시작으로 작년 히로시마까지 3회의 소풍을다녀왔습니다. 이 3년을 거치면서 몽당연필의 소풍은 '소풍 콘서트'와 ,'소풍 방문'으로 이루어지는 남쪽 시민들과 우리 동포들, 그리고 일본분들의 큰 만남의 마당으로 어느덧 자리를 잡았습니다.

비록 짧은 2 박 3 일의 만남이지만 우리학교를 지켜 오신 동포들과 이를 지지하는 일본분들을 크게 위로하고 지지하는 홍겨운 '콘서트'로 시작하는 '소풍'은 오랜 시간 헤어져 온 혈육이 만나 뜨거운 가슴을 나누는 '교류모임'으로 그리고 이제 다시는 헤어지지 말자는 다짐으로 끝을 맺는 민간교류의 모범을 만들어 왔습니다. 이 만남을 일회성으로 끝내지 않기 위하여 저희 몽당연필 가족과 일본 실행위원회는 하나하나 세심하게 준비해 나가겠습니다.

70 년을 일본 땅에서 지켜져온 '우리학교'는 그야말로 동 포들의 피와 땀의 소중한 결과물입니다. 또한 전세계의 어 디에도 없는 우리 민족의 자랑이기도 합니다. 불행히도 처음의 시련이 오늘 날에도 그대로 존재하는 2015년입니다. 그러나 그 처음과 조금은 다른 상황이 우리와 함께하고 있습니다. 이제 조금은 여러분의 고향인 남쪽 시민들이 움직이기 시작하고 있습니다. 선량한 일본사람들이 하나 둘 모여 '우리학교'의 소중함을 외치고 있습니다. 비록 동포들을 이루는 상황은 크게 변함이 없으나 맞잡을 수 있는 손이 늘어나고 단단해지고 있습니다. 서로 잡은 이 단단한 손들을 놓지 않고 걸어간다면 그동안 외면했던 동포들도 그 대열에 함께 하리라고 몽당연필은 믿습니다. 서로 떨어져 외로웠던 손들이 이제 여러분들을 만나 손잡기 위해 달려가겠습니다.

일본에서도 가장 뜨겁다는 나고야의 여름.

그 여름의 한가운데에서 그보다 더 뜨거운 열기로 함께 할 노래와 웃음을 기대합니다. 70년을 계속되어 온 차별과 억압을 벗어내고 진정 하나되는 소중한 계기를 함께 만들 어 가길 바랍니다.

7월에 뵙겠습니다.

(日本語訳)

愛知の同胞の皆さん、こんにちは。

祖国が解放を迎え70年、その喜びとともに始まった民族教育が今もなお日本で守られていることに驚きを禁じえません。

その奇跡を成し遂げてきた同胞の皆さんに感謝と尊敬の 思いを込めて挨拶いたします。

このような意義深い 2015 年にモンダンヨンピルは日本の中心からウリハッキョを守ってきた愛知の同胞へ会いに行くこととなりました。

今年7月3、4、5日に行われるくソプン in 愛知 > は どんなソプン(遠足、コンサート)よりも温かく感動的な 出会いになると信じています。去る 2011 年、東日本大震 災を契機に生まれた 「朝鮮学校と共にする人々・モンダンヨ ンピル は 2012 年の初 くソプン in 東京 > を皮切りに昨 年の広島までに3回のコンサートを行いました。この3年 間を経ていつしかモンダンヨンピルのコンサートは 'ソプン コンサード、と 'ソプン訪問'で繋がる南側の市民とウリ同 胞たち、そして日本の方たちの大きな出会いの場となりま した。ウリハッキョを守ってきた同胞たちと日本の支援者の 方々を慰労し支える元気あふれるコンサートとして始まった 'ソプン(遠足)'は、たとえ2泊3日の短い出会いではあ りますが、長い間離れ離れになっている血筋を巡り合わせ 暖かい気持ちを分け合う交流の場へとなり、そしてもう二 度と分かれまいとする思いを持つ民間交流の模範を作って きました。この出会いを一回で終わらせることのないよう 私たちくモンダンヨンピル>ファミリーと日本の実行委員 会は一つ一つ慎重に準備していきます。

70年間、日本で守り続けたウリハッキョは紛れもなく同胞たちの血と汗の貴重な結果の産物です。また、全世界のどこにもない民族の誇りでもあります。不幸にも昔から続く試練が今日も途絶えることなくそのままの形で存在する 2015年です。 今やっと少しは、みなさんの故郷がある南の市民たちが動き始めています。善良な日本の人が一人、二人集まりウリハッキョの大切さを訴えています。 たとえ同胞たちを取り巻く状況が大きく変わることはなくても取り合う手は増え強くなっています。 互いに取り合った手を離すことなく歩いて行くなら、この間離れていった同胞たちもその隊列に加わることだとモンダンヨンピルは信じます。互いに離れて寂しかった手がみなさんに会って、手と手を繋ぐために走っていきます。

日本で特に暑いという名古屋の夏、その夏にも負けない 熱気で歌う歌、笑顔を期待しています。70 年続いてきた差 別と弾圧から抜け出し、本当に一つになるきっかけを一緒 に作っていけることを願います。

7月に会いましょう。

13

事務局 (まの) (まの) (単し) &新弁護団紹介

運動母体である無償化ネットワーク愛知のメンバーの意見発信のページとして、無償化闘争や朝鮮学校支援の経験のなかで日々感じたことを、事務局員がほのぼのと綴っていきます。今回は、8年前に愛知朝鮮高校を卒業し、新しく弁護団、事務局に入った弁護士・金銘愛先生のほのぼの便りです!



弁護団 金銘愛

1 自己紹介

皆様、初めまして。この度、新しく弁護団に加入した 金銘愛(きむ・みょんえ)と申します。昨年末から名古屋 市内において新人弁護士として活動しています。私は日本 で生まれ育った在日朝鮮人3世で、愛知朝鮮中高級学校 は私の母校です。大学まで民族教育を受けて学びました。

2 高校無償化裁判に懸ける想い

全く話が変わって恐縮ですが、私には神奈川の朝鮮学校に通う中学3年生の従弟がいます。先日、その従弟が 某地方紙でヘイトスピーチや高校無償化問題についてコメントしている記事を発見しました。

高校無償化法案が出た時、従弟はランドセルを背負う 小学生でした。ところが、いつの間にか自身が差別を受けていることに向き合い、当事者として声をあげるようになっていました。知らない間に、真っ直ぐ、そして逞しく伸び伸びと育つ従弟が誇らしい反面、私は時の流れを感じ複雑な心情になりました。

「従弟も来年度は高校1年生になる。高校無償化の適用除外という差別を直接的に受けることになる。この間自分はいったい何をしていたのだろう。」

以前にもこのような心情になったことがあります。朝鮮 高校だけが「無償化」から除外されることが決まったとき です。当時、私は弁護士になるべく司法試験に向けて机 に向かう日々を送っていました。大学を卒業するとき、「次世代の子どもたちを守りたい」「ウリハッキョを守りたい」と思ってこの道を選びました。それなのに、いざ後輩たちが差別されて辛い思いをしているとき、自分には何もできませんでした。

それでも、強い気持ちを持って机に向かうことができたのは、弁護団の先生が「一緒にやろう。待っている。」と声をかけてくれたからです。ウリハッキョで学んだ同窓生たちが「焦らず自分がすべきことをすれば良い」と励ましてくれたからです。また、母校の後輩たちが原告となって社会に向けて声をあげたことが、私に力を与えてくれたことは言うまでもありません。

3 最後に

多文化共生を唱える日本社会にとって、朝鮮学校のみを理不尽な理由で差別することはありえてはいけません。この闘いは、朝鮮学校に通う子どもたちの笑顔を守るための闘いであるとともに、日本の社会をより良く変えるための闘いでもあると感じています。弁護士としても、1人の人間としても、まだまだ未熟ではありますが、今後は社会的正義の実現という役割を担う弁護士として、この闘いに精一杯取り組んでいききたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします

ととり通信 13号

2015年3月30日 発行

発 行:朝鮮高校無償化ネット愛知

URL http://mushouka.aichi.jp/

e-mail: musyoukanet.aichi@gmail.com

FAX: 0562-97-1829

編 集: USM ~ 웃음~ ウリハッキョサポートネットメンバーズ

デザイン:(株)アトリエ・ハル

裁判応援グッズ販売 にご協力ください!

2013年12月19日に愛知朝高の卒業生と生徒5名が第二次で提訴をいたしました。 これで、愛知は10名の原告で〈無償化裁判〉を闘うことになります。 ネットワーク愛知では、全面的に原告を支え、この裁判に関わっていこうと決意を新たにしています。

《原告を応援するために、ネットワーク愛知では裁判応援グッズを販売しております。》



2013年3月からファイル3点セット、 エコバッグ、缶バッヂ3種を販売しております。 エコバッグは、太陽をデザインしたものです。 デザイナーがこめた思いは、 「太陽はお前たち(ウリハッキョ)の味方だよ」です。 缶バッヂは、ネットワーク愛知のロゴ、朝鮮学校の舞踊 部の女生徒、愛知朝鮮中高級学校の校舎の一部を デザインしてもらいました。



【販売価格】

- ■エコバッグ 1500円
- 缶バッジ 1個 200円

3個セット 500円

みなさまのご協力をお願いいたします。

購入希望の方、または、集会などの折に販売にご協力いただけるようでしたら、 下記までご一報ください。

【連絡先】 愛知県豊明市栄町南館 55

愛知朝鮮学園内 朝鮮高校無償化ネット愛知 金伸治

Tel: 0562-97-1815 Fax: 0562-97-1829

Mail: musyoukanet.aichi@gmail.com